

令和 4 年 11 月 22 日

文教産業常任委員会

委員長 早川 文乃 様

文教産業常任委員 岩藤 睦子

文教産業常任委員会行政視察報告書

下記の日程で行政視察を実施しましたので、別紙のとおり報告します。

記

1. 視察期日及び視察先

令和 4 年 11 月 15 日（火）

愛媛県西条市 「小中学校 ICT 教育推進事業について」
「アウトドア活動促進による地域活性化に向けた取り組みについて」

11 月 16 日（水）

愛媛県松山市 「地産地消促進計画について」
愛媛県大洲市 「観光まちづくり戦略ビジョン、観光まちづくり町家活用エリア実施計画について」

11 月 17 日（木）

楽天農業株式会社 「大洲冷凍工場見学および事業説明」

2. 視察参加名簿

委員長	早川	文乃
副委員長	米弥	又由
委員	重廣	正美
委員	重村	法弘
委員	岩藤	睦子
委員	有田	茂
委員	田村	大治郎
委員	西村	良一
委員	松岡	秀樹

以上 9 名

3. 視察報告・所感 別紙

(別紙)

視察先	愛媛県西条市			
視察日時	令和4年11月15日 13:30～15:30			
視察項目	小中学校 ICT 教育推進事業について アウトドア活動促進による地域活性化に向けた取り組みについて			
対応部署名	西条市教育委員会／西条市産業経済部観光振興課			
自治体概要	面 積	510.04 km ²	人口 (令和4年9月末)	105,966 人
	愛媛県東部に位置する西条市。南は西日本最高峰の「石鎚山」、北は瀬戸内海に囲まれている。気候は温暖で、良質な自噴水「うちぬき」に代表される豊かな自然環境と、由緒ある寺や名湯といった魅力的な観光資源に恵まれている。日本一の生産量を誇るはだか麦やあたご柿、春の七草など、多種多様な農作物の一大産地であるとともに、飲料、電気機械などの工場が立地し、四国最大規模の工業地帯となっている。市中心街は水が豊富で、全世帯地下水を使用し水道代が無料なのは驚いた。			
視察内容				
●小中学校 ICT 教育推進事業について				
1 背景 我が国における施策・方針				
2 西条市の施策 スマートシティ西条				
3 西条市における教育の情報化 授業&校務の情報化、クラウド化				
4 特徴的な取組 1 バーチャルクラスルーム				
5 特徴的な取組 2 スマートスクール実証事業				
6 西条市の G I G A スクール & 私たちのこれから				
●アウトドア活動促進による地域活性化に向けた取り組みについて				
アウトドアオアシス石鎚について				
～アウトドア活動促進による地域観光活性化に向けて				
所 感				
●小中学校 ICT 教育推進事業について				
西条市は 2010 年に電子黒板（各校 1 台）普通教室の情報化が進展、モデル的なタブレットの運用開始から始まり、2018 年日本 ICT 教育アワードを受賞している。現市長は公約に「I C T 技術を活用したまちづくり」をあげ ICT 教育に力が入っている様が見える。長門市においては、2020 年某企業が電子黒板等を寄贈され環境が整えられつつあるが、高校に進学しても遅れをとることなく児童、生徒に指導ができる環境づくりを構築していく必要があると考える。				
●アウトドア活動促進による地域活性化に向けた取り組みについて				
平成 11 年に完成した石鎚山ハイウェイオアシス館は多様化するニーズに対応しきれておらず、平成 29 年に㈱モンベルと「アウトドア活動等の促進を通じた地域活性化に向けた包括連携協定」を締結し、石鎚山ハイウェイオアシス館のリニューアルに取り組み、石鎚山や海拔 0 メートルから 1,982 メートルまでの自然豊かで広大なフィールド等を活用して、地域活性化、市民生活の質の向上を目指し、さまざまな活動に取り組んでいる。長門市も 2017 年に㈱モンベルと包括協定を締結し、本年 7 月に『下関、美祢、長門エリア』が山口県内では初となるジャパンエコトラックの認定を受けた。コロナ禍、まだまだアウトドア人気は続くと思われる。この期を逃すことなく環境整備やサービス向上に努めていく必要があると思う。				

(別紙)

視察先	愛媛県松山市			
視察日時	令和 4 年 11 月 16 日 9 : 00～10 : 30			
視察項目	地産地消促進計画について			
対応部署名	産業経済部 農水振興課			
自治体概要	面 積	429.40 km ²	人口 (令和4年10月1日)	504,509 人
	松山城を中心に発展して来た旧城下町で、道後温泉で有名な古くからの温泉地であるとともに、俳人正岡子規や種田山頭火また文豪夏目漱石ゆかりの地で、俳句や小説『坊っちゃん』『坂の上の雲』などで知られる文学の街でもある。これら観光資源を背景として、「国際観光温泉文化都市」の指定を受けている。“いで湯と城と文学のまち 松山”			
	まちづくりの理念			
	・様々な世代の人がつながり、支え合い、いきいきと暮らせるまちを目指す ・夢や理想を抱き、挑戦し続けるまちを目指す ・魅力や活力にあふれ、持続的に発展するまちを目指す			
	将来都市像			
『人が集い 笑顔広がる 幸せ実感都市 まつやま』				
視察内容				
●地産地消促進計画について				
松山市役所農水振興課とまつやま農林水産物ブランド化推進協議会の連携の説明				
農林水産物のブランド化推進等に関する取組について、平成 18 年に「まつやま農林水産物ブランド化推進協議会」を設立。協議会は全国に誇れる高品質な松山産の農林水産物を選定するとともに、地名度の向上、販路の開拓及び消費の拡大のための各種事業を実施することにより、松山市の農林水産業の活性化に貢献することを目的とする。外部からの申請に基づいて、協議会が認定基準に照らして審査し、ブランドに認定するなどの事業を行なう。協議会のメンバーは大学や漁協、農協、商工会議所、温泉協同組合、マスコミ関係、行政等で結成されている。高品質で安全・安心であることに加え、生産者の商品に対する「想い」が強く込められて松山産の農林水産及び、加工品に対して認定され、いわば松山産の農林水産物のトップランナー」。現在、10 品目を認定。				
新規漁業就業者育成強化事業の概要の説明				
U・J・I ターン等による新規漁業就業者の定住定借促進を図るため、漁業にかかる経費等に対して支援を行なう。令和 4 年度の新規漁業就業者支援数は 2				
所 感				
松山市も農業者の高齢化が進んでいる。2010 年から 2020 年で従事者が 2,070 人減少し 65 歳以上の割合が 63.2%から 74.1%と高齢化しているが「まつやま農林水産物ブランド化推進協議会」の説明を聞き、作り手が、まちづくりの理念にあるように、様々な世代の人がつながり、支え合い、いきいきと暮らせるまちを目指す、夢や理想を抱き、挑戦し続けるまちを目指す・魅力や活力にあふれ、持続的に発展するまちを目指すという理念にそっていると思った。市町自ら園地視察や販売のトップセールスを行なっており力の入れ方が凄い。この 11 月に野志市長は無投票で 4 選している。長門市の農産物は少量多品目で、課題は山積。2014 年長門大津農業協同組合、深川養鶏農業協同組合、山口県漁業協同組合及び長門市の 4 者が出資し、ながと物産合同会社が設立されたが、「ながとブランド」の方向性は見えない。				

(別紙)

視察先	愛媛県大洲市			
視察日時	令和 4 年 11 月 16 日 13 : 30～15 : 00			
視察項目	観光まちづくり戦略ビジョン、観光まちづくり町家活用エリア実施計画について			
対応部署名	観光まちづくり課			
自治体概要	面 積	432.12 km ²	人口 (令和4年10月末)	40,667 人
	伊予の小京都と呼ばれる大洲は、市の中央部を清流「肱川」が流れ、昔ながらの街並みが残り、美しい田園風景や山並みが特徴です。歴史を感じさせるノスタルジックでどこか懐かしい場所、自然を満喫できる美しい場所など、情緒あふれる名所の数々が今も息づいている。 第一次産業...11.6% 第二次産業...21.4% 第三次産業...63.3% その他...3.7% 1966 年から翌年に放送された NHK 連続テレビ小説『おはなはん』のロケ地			
視察内容				
●観光まちづくり戦略ビジョン、観光まちづくり町家活用エリア実施計画について 大洲城下町の歴史的風致が感じ取れる状況として風情ある街並みとして歴史的な風致が感じ取れる建物が多く残っている(約 100 件)。2017 年当時、取り壊しや新築・改築の予定物件あり。 2017 年当時の状況 ◆マイナス面 ①建物の老朽化が進み、年々街並みが失われていく ②景観対策の制度では、規制も補助金額も不十分 ③市外県外の所有者にとっては、維持が困難（更地にして売る人が多い） ④古い建物は現代人に住みづらい（住宅に向かない） ◆プラス面 ①町家・古民家を活用したい人が少し増えてきた（若者・移住者） ②訪問外国人旅行者（欧米など）に町家・古民家が人気 ③国の動きも変化しつつある（歴史的資源を活用） ≫YATSUGI 地元住民を中心としたボランティア活動が始まる（掃除・ワークショップ・イベント活用など） ≫専門家らとの関りで判明した知見 ・大洲の城下町のまちなみはまだ再生可能であること ・兵庫県篠山市の事例で「町屋デベロッパー」がすでに存在したことなど ・まずは宿泊施設を設けることが重要であること ・融資には回収が必要であること。そのためには、出口の事業者が重要であることなど ≫連携協定 2018 年 4 月VALUE・NOTE・伊予銀行・大洲市が飯鮎の町屋・古民家等の歴史的資源を活用した観光まちづくり協定を結ぶ				
所 感				
レクチャーを受けた後、まちなみ見学に出かけた。いい雰囲気のまちなみで古民家や蔵を改修した宿泊施設、毎週日曜日にオープンする昭和の香りただよう広場で色々な遊びが体験できたり、毎日オープンしていないがパン屋、クラフトビール工場などがあり日々の生活にも助かる建物があった。改修中の建物もあり、もう一度訪れたい街であった。大洲城では 100 万円で一泊できるプランがある。世界的にも有名になりつつある。				

(別紙)

視察先	楽天農業株式会社			
視察日時	令和 4 年 11 月 17 日 10 : 00～12 : 00			
視察項目	大洲冷凍工場見学および事業説明			
対応部署名	代表取締役 遠藤 忍様、社長室、農業事業部			
会社概要	資本金	3,200 万円	従業員数	124 名
	《設立》 2007 年 3 月 12 日 株式会社テレファーム 2020 年 1 月 1 日 楽天農業株式会社に社名変更 《事業内容》 オーガニック野菜の栽培、加工 Rakuten の農業生産、農業研究部門、加工品製造を担っている楽天グループの農業法人 ※2007 年より有機野菜を栽培、今年で 15 年目。現在、有機 JAS 認証を取得し、年間 100 品目以上の有機農作物を栽培している。			
視察内容				
先ず、工場見学をさせていただいた。 楽天農業株式会社の取り組みについて（説明） <u>急減する農家数</u> 農家の 78%が 60 歳以上と高齢化が進んでいる。かつて 1454 万人いた日本の農家はあと 6 年で 56 万人まで急減 <u>増大化する耕作放棄地</u> 跡継ぎのいない農地がどんどん荒れ地となり、あと 6 年で、耕作放棄地は東京ドーム 98000 個分になる。 楽天農業株式会社は農作物を作る会社ではなく、農家を作る会社である。 楽天農業の挑戦：IT での農業支援・・・農業に毎月の安定収入をつくる。 農業の課題 ・不安定で低収入 ・規格外対策 ・農作物廃棄の改善 楽天農業の解決策（加工による農家支援） 365 日いつでも農家から農作物を買い支える体制の構築 ①オーガニックカットサラダ工場の運営 ②オーガニック冷凍野菜工場の運営 冷凍工場を一つ建てると 100ha の耕作放棄地が減り、100 人の雇用が生まれる。				
所 感				
長門市は 2021 年 4 月、農業の活性化による経済や地域社会の発展を目指し、耕作放棄地を活用したオーガニック農業の推進、新規就農者の育成支援などで実績のある楽天グループおよび楽天農業との農業分野における連携協定の締結が行われた。その様な経緯もあり、今回の視察に至った。長門市での耕作放棄地 100ha で加工場を検討するとのことだが、まだまだ達成できず、離接する美祢市や下関市へもエリアを拡げている。工場は是非長門市に設置して欲しいが、先ず土地の集積問題が大きい。他に道路アクセスの問題、従業員の宿泊施設、夜間の飲食店など解決していかなくてはならない問題は山積している。しかし、代表取締役遠藤忍氏は、よく長門市に足を運んで下さりアドバイスもされている。大洲市から長門市まで、片道 6 時間はかかる。頭が下がる思いである。				